奥越坂井

旧金津出身 早世の詩人
舘高重の世界 浸る
あわらで朗読会 170人集う

旧金津町出身で27歳の若さで亡くなった詩人舘高重（1904～31年）の詩の朗読会（福井新聞社後援）が21日、あわら市中央公民館で開かれた。両親や妻を亡くし、病と闘いながら書き上げた詩は、はかない命や家族への愛などがこもった作品ばかり。訪れた約170人が耳を傾けた。

生まれた翌年に母、18歳で父、23歳で妻を亡くした舘は、自らも肋膜炎を患う中で詩を書き続けた。舘を顕彰しようと、遺族や同市で郷土史を学ぶ有志でつくる「舘高重を偲ぶ会実行委員会」が企画した。

披露された詩は、妻・萩子へのいとおしさを込めた「萩の花」、妻が病気になり一人で食事をする寂しさをつづった「食卓」など約30編。舘のめいにあたる山口幸枝さん＝あわら市＝らがしっとりと朗読した。訪れた人は、舘の詩がつむぎあげる世界に浸っていた。

舘のおい、邦夫さん＝同市＝は、詩人の故則武三雄さん（福井市）、故広部英一さん（同）が舘の作品をどう評価していたかを解説。いつも長髪で、和服でいることが多かったなどといった生前の姿も紹介した。本田敏美さん(58)＝坂井市三国町米納津＝は「心にしみる詩ばかりだった」と話していた。（山崎彩）

はかない命や家族への愛がつづられた舘高重の詩の朗読会＝21日、あわら市中央公民館

夢風船

坂井市春江小6年　宮本 爽楽さん

私は料理人になって、いろいろな人に料理を振る舞いたいです。5年生から料理が好きになり、毎日夜ごはんのメニューを考えたり作ったりしています。上手になって評判の良い料理人になりたいです。

児童の健全育成 功労12人を表彰
坂井、県連絡協総会

県児童館連絡協議会の総会が23日、坂井市の県児童科学館で開かれた。児童の健全育成に長年努めてきた功労者12人が表彰された＝写真。

表彰され市、大野市な員やボラン人。同連絡協一会長から賞が手渡された

山菜採って 勝山満喫を
28日 えち鉄が散策ツアー

えちぜん鉄道は28日、電車とバスで勝山市北谷町小原地区に行き、山菜採りなどを楽しむ散策ツアーを行う。参加者を募集している。

福井駅午前8時28分発の電車に乗車し勝山駅に同9時31分に到着した後、バスに乗り換え小原地区に向かう。

現地では林道散策のほか、ウド、フキなどの山菜採りをする。昼食には山菜料理やイワナの塩焼きを堪能してもらう。帰りは勝山駅に戻り、午後2の電車に乗車する

帰途に勝山温泉水芭蕉に立ち寄駅を午後3時49分ースも設ける。

定員は小学生以参加費は大人3（サポーターズ会00円）、子ども0円（同2300車運賃は別途必要

40人参加

軍手、山菜を入参する。小雨決行

申し込みは同社談室＝☎0120508。

温か防災ずきん 児童へ
勝山・平泉寺小 地元女性贈る

勝山市平泉寺町赤尾の住民たちが23日、手作りの防災ずきん45枚を平泉寺小児童と教職員に贈った。

日間かけ新調した。教室の椅子の背もたれに掛けられるようサイズやゴムの位置を工夫した。

「早速、明日の避難訓練に使います」と感謝の言葉を述べた。（宮本宰直）

ぶせてもらう児童

ナルの
加者＝本
上日

パパ宛てはがき
坂井 一筆啓上の館